

教材を使わない家庭教師

Explanation
book



今日からおうちでできる 「3ステップ学習法」ガイド

「頑張っているのに、なかなか結果につながらない」と悩むお子様へ
最短時間で点数を引き上げる「3ステップ学習法」実践マニュアル
～勉強を「作業」にしない、親子で無理なく進めるためのヒント～

はじめに

お子様の「頑張り」を点数につなげるために

なぜ「ワークを埋めても点数が上がらない」のか？

多くの親御さんが悩むこの原因は、勉強が「作業」になっているからです。

- ×がつかないように教科書を見て埋める。
- 赤ペンで答えを写して終わる。

これらは「手の運動」であって「勉強」ではありません。このガイドでは、「できない」を「できる」に変える最短の手順をお伝えします。

「3ステップ学習法」のステップ

STEP 1：【発見】

今の「得意・苦手」を知る

勉強の第一歩は、今の実力を正しく知ることから始まります。

- やり方： 学校のワークを、まずは教科書を見ずに解いてみます。
- ポイント： 全部正解する必要はありません。今の段階で「できる問題」と「時間がかかる問題」を分けるだけで十分です。
- 保護者の寄り添い： ×がついた時に「これがお子様の伸びしろだね」と、前向きに受け止めてあげてください。

STEP 2：【解消】

「わからない」を「わかった」に変える

STEP 1で見つかった「苦手な問題」だけに集中して取り組みます。

- やり方： 間違えた問題の解説を読んだり、誰かに聞いたりして、解き方を理解します。
- ポイント： すでにできる問題を繰り返す必要はありません。その時間を、苦手な問題を理解するために大切に使いましょう。
- 保護者の寄り添い： 「全部やらなくていいよ。この数問だけ一緒に見てみようか」と、ハードルを下げてあげてください。

STEP 3：【確認】

「わかった」を「できる」にする

解説を読んで理解したあと、「本当に一人で解けるか」を確かめる最後の仕上げです。

- やり方： 翌日以降に、もう一度「何も見ずに」解けるか試します。
- ポイント： 「理解した」と「テストで解ける」の間には大きな壁があります。自力で解けて初めて、本当の力がついたと言えます。
- 保護者の寄り添い： 最後に自力で解けた時、「自分の力でできるようになったね」と、その過程を認めてあげてください。

保護者の方へのメッセージ

心の余裕を保つために

お子様が勉強で行き詰まっている時、一番必要なのは「安心感」です。

- ×を恐れない： ×は間違いではなく「もっと伸びるポイント」です。
- 少しずつ進める： 3ステップすべてを完璧にやろうとすると、親子ともに疲れてしまいます。まずは苦手な1ページから試してみてください。
- 頑張りを見守る： 点数という結果だけでなく、机に向かったこと、×と向き合ったこと、その一步一步に寄り添ってあげてください。